

弦を電磁石で振動させ、共振現象を見てみよう

- ◆ 会 場 千葉大学 総合校舎E号館 3F301室
- ◆ 日 時 平成26年9月28日(日) 9:45~15:30
- ◆ 講 師 千葉大学教育学部 教授 加藤 徹也 先生



一人ずつ個別で実験

50名の受講生全員が、個別実験できるように、たくさんの実験道具が用意されていました。受講生は実験を満喫できたようです。



教育委員の先生方が参観

当日は5人の千葉市教育委員の先生方が参観されました。グループで協力しながら熱心に学ぶ受講生の姿に感激されていました。



振動を目でとらえる

オシロスコープやデジタル発信機など普段触ることのない実験道具に触れたので、知的な刺激を受けることができました。



音楽と数学とのつながり

ピタゴラスの時代から数学と音楽のつながりが学問になっていることを知り、受講生は皆驚いていました。

* * * * * 受講生の感想 * * * * *

- ・ 普段は目にすることができない「音」を今回の実験で見ることができてよかった。
- ・ 電気の分野の学習には苦手意識をもっていたが、実際にやってみると、とても面白かった。
- ・ Hz（ヘルツ）の違いによって、音の聞こえ方が違うことがわかり、とても興味をもてた。
- ・ 午前と午後の受講時間があっという間に過ぎてしまった。
- ・ 共振の原理が地震に強い建物に応用されていることを知り、実生活にも役立っていることが分かった。